

★四條畷市の状況

- 1) 市内に全戸配布のアンケート調査を実施。4人削減賛成が60%を占めていた。
- 2) 市議会の特別調査委員会で9回に亘り審議し4人削減を決めた。
- 3) 四條畷市議会議事録から：
【議員定数の削減により、次の選挙が大変厳しいものとなるが、それにより、議員の活動、資質能力が大きく問われることになり、ひいては議会の資質向上に繋がり、議会の与えられた機能を十分に発揮し、市民の負託と期待に応えられる議会の実現に寄与する。この4名の議員報酬(任期内)で約2億円近い経費縮減が実現する。それを児童生徒の学力向上と福祉施策の充実のための財源とし、市民本位の市政の実現に役立てるための提案である。】

《図1》 各種の比較

国会レベル	衆議院	参議院	国土
日本	480	242	1
米国	435	100	25倍



単位：人口=千人 報酬=千円

日本(都道府県)	東京	神奈川	大阪	愛知	北海道	福井	島根	鳥取
人口	13,159	9,048	8,865	7,410	5,506	806	717	588
議員数	127	107	109	103	104	37	37	35
議員1人あたり人口	104	85	81	72	53	22	19	17
報酬(月額)	1,030	970	930	977	900	806	770	757

単位：人口=千人

米国(主要都市)	NY	ロス	シカゴ	ダラス	デトロイト	シスコ	シアトル	ラスベガス
人口	8,391	3,831	2,851	1,299	910	815	617	567
議員数	51	15	50	15	9	11	9	6
議員1人あたり人口	167	255	57	87	101	74	69	95
年報酬(\$)	90,000	136,000	85,000	37,500	81,312	37,584	84,800	40,664

※人口=2009年米国国政調査

※議員定数・報酬は Tabulated data pm City Government-Infoplease.com.

単位：人口=千人

都市レベル	札幌市	大阪市	名古屋	京都市	横浜市	福岡市	広島市	さいたま市
人口	1,921	2,551	2,223	1,380	3,639	1,447	1,187	1,236
議員定数	68	86	75	69	86	62	55	60
議員1人あたり人口	28.25	29.7	29.6	20.0	42.3	23.3	21.6	20.6

単位：人口=千人 報酬=千円

府内の市比較	大阪	堺	東大阪	豊中	枚方	富田林	河内長野	大阪狭山
人口	2,551	837	484	400	404	116.8	112	57
議員定数	86	52	42	36	34	19	18	15
議員1人あたり人口	29.7	16	11.5	11.1	11.9	6.1	6.2	3.8
議員報酬(月額)	776	741	700	635	628.8	579.5	560	456

単位：万円/1人

府内の市比較	大阪府	大阪市	堺市	大阪狭山市
政務活動費	59	60	30	3.5

《図2》 平成26年1月1日以降に適用の議員定数 府内市議会議員定数&報酬

H26.10.13

都市名	人口	報酬(月)	議員1人 当り人口	前の 定数	削減 数	新定数
堺	838,873	780.0	17,477	52	4	52→48
枚方	409,964	628.8	12,811	34	2	34→32
寝屋川	240,031	615.0	8,890	28	1	28→27
松原	124,381	620.0	6,546	19	1	19→18
柏原	73,585	520.0	4,088	18	1	18→17
羽曳野	116,776	600.0	5,839	20	2	20→18
四條畷	57,362	503.5	4,780	16	4	16→12
河内長野	113,295	560.0	6,294	18	0	-
富田林	118,087	579.5	6,215	19	0	-
大阪狭山	57,831	456.0	3,855	15	0	-

議員報酬の日当制化を実現させている 福島県矢祭町を紹介

矢祭町議会決意宣言

「町民とともに立たん」



「平成13年10月31日、議員提案により「合併しない矢祭町宣言」を全国に先駆けて全会一致で議決した。・・・「合併しない宣言」以来、議員は議会改革に全精力を傾けてきた。18人→10人へ削減。我々が受ける報酬は、町民が汗を流して稼いだ税金であることを忘れてはならない。議員報酬の経緯を辿れば、執行部とのもたれ合いの中、報酬審議委員会なるものを隠れ蓑にして、その額を住民の目に届かないところで決めていたと指弾されても、反論する言葉を我々は持たない。・・・我々議員は、住民の^{かんなんしんく}艱難辛苦を憂い、嘆く声を聞き、見たとき、現在の報酬制にあぐらをかいている訳にはいかない。我々は報酬制度を根本から考え直すことを決意した。・・・私たちが描く日当制は実費支給が原則であるから、住民の目からも透明度が高く、議員活動に対する対価という意味合いがより厳格化される。これによって、議員の活動状況も分かりやすく、評価もしやすくなる。この制度の導入により「金のかからない選挙」が実現できるだろう。・・・(中略)・・・
以上

皆様の「声」を
お待ちしております

小原かずひろ後援会
会員募集!!

小原かずひろ後援会事務所
e-mail✉ : sik@iris.eonet.ne.jp
ブログ更新中「Kazの近況と心情」
http://kenxiaoping.seesaa.net/